

1. 記載事項の了承

出場選手は、本大会にゼッケン番号を付けて出場する段階で、募集要項の記載事項及び本注意事項を了承したものとみなします。本事項を熟読の上、大会スケジュールを厳守してください。

なお選手及びサポーターは「試合規約 (<https://www.shinkyokushinkai.co.jp/rules/dfkiyaku/>)」を必ずご確認ください。また大会期間中の貴重品は自己責任で保管してください。

試合規約⇒



2. 最新情報は公式HPに掲載

最新の情報やスケジュールの詳細、また本書に記載のない事項については、公式HP (<https://tsukamoto-doju.jp/ja/>)に掲載します。選手及びサポーターは、本書以外に公式HPも必ずご確認ください。これらHP掲載事項も前項「記載事項の了承」に含まれます。

大会公式HP⇒



3. 試合管理は各自で

試合に遅れた選手、試合を間違えた選手は、いかなる理由があっても失格となりますのでご注意ください。また、この失格に伴う主催者、スタッフへの苦情は一切受け付けません。

試合進行における選手誘導は行いませんので、各自で試合進行を管理してください。

選手とサポーターは自分の試合の5試合前にアリーナインし、3試合前より待機席(赤または白)についてください。ゼッケン番号の若い方が「赤」、他方は「白」です。

4. 防具は各自で用意を

防具(ヘッドギア・赤帯セット含む)の貸し出しは一切行いません。各防具には必ず記名し、紛失無きよう自己責任で管理してください。インナーシールド、赤帯・赤マークは会場内で販売しないため、事前に各自で用意してください。また選手は「防具規定」、「防具ガイドライン (<https://www.shinkyokushinkai.co.jp/bougu/>)」を必ずご確認ください。防具の着用不備に伴うペナルティ(失格、注意1)についてはスタッフは責任を負いません。※インナーベストについては募集要項記載指定品のみとする。

防具ガイドライン⇒



5. テーピング、防具着用の決まり

テーピングの使用は医師の診断書がある場合のみ認めます。テーピングの検印等は、大会ドクター席にて行います。防具はすべて指定商品の白色のみが着用可能です。

なお、下腹部防具(フェールカップ、アンダーガード)は道着の内側に、チェストガードはTシャツの内側に装着してください。双方、外側に着用している場合は注意1が与えられます。

指定商品以外を着用しての出場は認められません。

6. 身なり

選手は武道家らしく質実に身なりを整えてください。頭髮の染髪や脱色は不可です。装飾品(ミサンガ、ピアス、イヤリング、指輪など)も一切身に付けてはなりません。装飾品に起因する競技中の負傷事故やトラブル等は、対戦相手への補償も含めて、装飾品を装着した選手が全責任を負います。

男子選手は道着の上衣は素肌の上から着用してください。ただし、入れ墨がある選手は試合中に露出しないよう白Tシャツを着用してください。前腕部に入れ墨がある場合は長袖可です。この場合(入れ墨)は試合場スタッフに着用を申し出て許可を得てください。女子選手が道着内に着用するTシャツは白とし、長髪の選手は髪が乱れないようにゴム等で結んでください。髪飾り(ヘアアクセサリィ・ウィッグ・ヘアバンド等)は禁止します。また、化粧・マニキュア(つけづめを含む)も禁止です。大会の趣旨にふさわしくない身なり(主催者判断)の選手は出場をお断りいたしますのでご注意ください。

7. ゼッケン

ゼッケンを忘れた場合は試合に出場することはできません。また、試合中に取れることのないようにしっかり白糸で縫い付けてください。その際、並縫い・まつり縫いなどの縫い方で带上の背中位置に四辺を確実に縫い付けてください。四隅だけを点で縫い付けることは禁止です。万が一、ゼッケンが取れた場合は、次の試合までに必ず縫い付けてください(ソーイングセットは各自準備)。スポンサーとの契約によりゼッケンが取れたままでの試合出場は認めません。

【ダブル出場のゼッケンの縫い方】

1. 後に出場する種目のゼッケンを、先に縫い付けてください。
2. 縫い付けたゼッケンの上から、先に出場する種目のゼッケンを縫い付けてください

先に終了した種目のゼッケンをはがし、次に出場する種目へスムーズに移行できるよう、ゼッケンを縫い付けてください

8. 応援マナーの向上

選手同様にアリーナイン出来る付き添いは制限されております。

アリーナインされてコートサイドに入場された際には必ず脱帽をお願い致します。

また、不快と感じる発言(応援)など無いよう観戦・応援マナー向上に何卒ご協力をお願い致します。

注意事項

- ① 出場選手(団体代表者・保護者・関係者含む)は、主催者が設けた全ての規約、本要項記載事項、公式HP掲載事項、コロナ対策、その他の指示を承諾したもとして指示に従って行動してください。

- ② 出場選手(団体代表者・保護者・関係者含む)による審判や判定に対する異議は一切受け付けません
なお苦情や粗暴・非礼な振る舞い(主催者判断)を確認した場合、その場で出場資格を取り消すだけでなく、
以後の大会についても出場選手だけでなく所属流派・団体の出場もお断りいたします。
- ③ 未成年の申込者は必ず保護者に出場者募集要項を読解してもらい、内容了承の上で申し込んでください。
また大会当日は保護者等による保護監督を受けてください。
- ④ 運営上の失格(自身の試合開始時刻の管理不備、防具や赤帯・赤マークの不備等)がございます。
詳細は新極真会HPに記載の「試合規約」、「防具ガイドライン」を合わせてご確認ください。
- ⑤ 体重別各階級の軽量級・軽中量級・中量級・軽重量級選手は主催者指定の計量(体重計測)が必須です
(重量級出場選手は計量の必要ありません)。計量は各試合場にて指定服装【道着下(ズボン)と
半袖Tシャツ】にて計測します。計測値から1kg差し引いた数値を公式体重とします。
なお、この指定服装以外で計量する場合は、計測値が公式体重となります。下着のみ、裸身での計量は
固くお断りいたします。
公式体重が各階級の規定体重を超過した場合や指定時間内に計測ができない場合は失格です。
- ⑦ 不慮の事故などで出場が不可能になった選手は、速やかに大会事務局に連絡してください。また出場選手が
正当な理由なく試合放棄した場合、以下の場合を除いて15万円の弁償金を支払う事になります。
(1)医師の診察を受け、その結果試合続行不可能と判断された場合
(2)試合直前又は試合中に本人に関する不慮の事故が発生し、大会実行委員長より退場を許可された場合
- ⑧ 各階級には年齢区分を設けています(別紙「年齢基準表」を参照)。該当する階級にお申し込みください。
年齢区分を越えての出場はできません。一方、各階級の軽中量級・中量級・軽重量級・重量級は
規定体重未満の選手も出場することができます。
- ⑨ 試合の判定方法には、3審制(主審1名と副審2名による判定)を採用する場合がございます。
- ⑩ 階級の統合は安全を考慮し行いません。出場人数が1名の階級について廃止となります。
ご理解のほど宜しくお願いいたします。
- ⑪ 大会当日は必ず健康保険証を持参してください。試合中に負傷または事故(重症・死亡・後遺症含む)が
生じた場合、主催者が加入している賠償保険の範囲内での対応となります。打撲や捻挫等での通院の
治療費が出る保険ではありません。保険適用の申請は、大会終了後から6月16日(金)まで受付けます。
その際、大会事務局に所属長・団团长より連絡すること。選手個人・保護者からの連絡は受け付けません。
選手及びその保護者は、主催者や大会役員等の大会関係者、及び対戦相手等に対して一切の
損害賠償や苦情申し立てをしないものとします。
なお、出場選手以外の方への会場内外での怪我・事故について補償はございません。
- ⑫ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。出場選手の映像や画像(氏名や住所の一部等も含む)は、
主催者が発行する広告・出版物、カタログ、ホームページ等に使用することがあります。また、各種メディアが
が取材する場合があります、映像や画像が放映、掲載される場合がある場合がございます。
- ⑬ 出場申込の際にお預かりした個人情報主催者にて厳重に管理します。大会での連絡業務及び大会運営に
必要な業務以外の目的で出場者に許可なく使用することは一切ございません。
- ⑭ 主催者の判断によって、本大会に関する事前告知のない変更が生じる場合がございます。
- ⑮ ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ⑯ アリーナ内土足厳禁となっております。各自、上履きを持参し靴袋などにて自主管理をして下さい。
アリーナ入口に脱ぎ捨て置いてある靴は如何なる理由問わず撤去致します。
- ⑰ 会場内の安全確保の為、アリーナ内でのシート敷き、荷物置き(ミット含む)、座り込み、三脚使用による
映像撮影等の場所取り行為を禁止します。
- ⑱ 貴重品の管理は各自の責任で行って下さい。紛失物の管理は主催者では行いません。
- ⑲ アリーナ入場口は東側地下一階のみとなっております。西側観客席から直接アリーナへの入場
が出来ない為に移動時間など考慮して試合時間に遅れないよう気を付けて下さい。
自身の試合開始時刻の管理不備は失格となります。
- ⑳ ウォーミングアップ場を使用する際は必ず靴を着用してください。
- ㉑ 大会会場および周辺施設は全面禁煙となっております。禁煙にご協力ください。
- ㉒ 帯は申し込み時の帯を着用してください。初中級は帯制限がある為違う帯を締めての出場は失格となります。